

犬山市協働プラザ事業 進捗状況表（令和2年度実績）

事業の実施方針及び成果指標				進捗状況	備考（実績等）
項目0（必須業務・重点課題）	項目1（業務タイトル）	項目2（事業内容）	項目3（事業項目）	（青：実施中or実施済 黄：準備中 桃：未実施）	
市民活動支援の段階① 団体支援で、成果を出せる団体を増やす	●「協働プラザ」業務運営管理	・ 協働プラザミーティング	行政担当との定期的な打ち合わせを開催	毎月第1(水)	7回
		・ 運営委員会（全構成員で組成）	定期的な運営会議を開催（オンライン・オフライン）	運営会議毎月第1(金)、事務局会議毎月第3(金)	運営会議13回、事務局会議10回
		・ 来所者対応	施設全体統括、各スタッフのマネジメント、市との調整等	決裁、マネジメント体制の構築中	
		・ 相談対応	来所者の受付対応業務（施設・機器の利用、相談対応）	コロナ対応確立	来場者 累計5,465人 一日平均24.38人
		・ 受付管理	相談・助言業務（専門的、具体的な個別対応の支援）	専門相談体制構築、広報相談一覧へ毎月1日号掲載	63件
		・ イベント管理	団体の業務支援関連イベントの開催	自主事業Bと統合 コロナ対応「Zoom勉強会」定期実施	水曜日「チャレンジZoomはじめる勉強会」27回開催、59名参加
		・ 施設利用管理	立上げ支援、事務局支援、広報支援、会計支援、書類作成支援		
		・ 職員勤怠管理	団体の交流促進関連イベントの開催 （フューチャーセッションとも連携） ●第1弾：協働プラザの愛称決めワークショップ（3～4回開催し候補決定後投票などを予定） 受付・相談員・各事業スタッフのバックヤード業務 スタッフ側の運用に関する進捗、報告、相談事などをクラウド利用で共有・引継ぎ（案/Googleスプレッドシート）	つながるWS（昼開催、夜開催、親子向け、名経大）4回実施 愛称募集、協働プラザ展実施	4回実施、69名参加
		・ 情報発信 ①メルマガ・SNS デジタルで届ける ②WEBサイト デジタルで置く・蓄える ③広報誌 アナログでまとめる・手元に残す	①情報発信：メルマガ・SNS通知 （メールマガジン、公式LINEアカウント、Facebook、Twitter等を活用） ②情報発信：WEBサイト ※Wordpress運用 （団体登録案内/団体イベント情報/センタースケジュール/センター設備・利用申込受付/相談日 等） ③情報発信：広報誌 （6月/センター年間事業、9月/団体特集、12月/助成金、3月/事業計画）	公式LINE、Facebook、Twitter、Instagramで発信。 WEBサイト構築。運用中。 A3両面 創刊号、秋号、冬号予定通り発行。	公式LINE登録46人、Facebookフォロワー196人、Twitterフォロワー60人、Instagramフォロワー131人。愛知北FM出演3回 閲覧数 4,929 創刊号1800部、秋号1000部、冬号1000部、春号1000部発行。
		・ 外部・他団体との連携協力体制	・ コンソーシアム構成員と繋がりのある課との連携 ・ 福祉、子育て、教育機関、生涯学習等の分野で活躍している団体との連携 ・ 他市町での活動団体との情報共有 等	案件が発生したとき、プラザとして誰が、どこまで、どのようにするか決定するマネジメントの仕組みを構築中。 小牧市、関市、扶桑町等のセンターと交流。ホットライン構築。	保健センター（引きこもりの本人、家族支援） 犬山祭り保存会（祭り担い手育成） 一般社団法人かみああと（GOTO商店街）
		・ 利用者の意見徴収・評価	施設利用促進（常時、定期的な徴収・評価・改善）を目的とした、 ・ 意見箱の設置、定期的なモニタリング ・ 年1回の利用者ダイレクトモニタリング CS調査を施設完成・供用開始後1年以上経過後に実施	意見箱の設置済。 来場者アンケートの実施（10月） －	スタッフの対応 満足89％ 施設の使いやすさ 満足、やや満足92％
	●自主事業 A 年1回/参加費千円×50人	ジョインいぬやまシンポジウム	・ 未来イメージを共有して、市民活動団体の連携強化 ・ 先進的な事例や社会学的な視点からの情報発信 ・ 地域の問題点の洗い出し、課題抽出、対応策	3月6日（土）にオンラインにて実施。中京大学非常勤講師の加藤武志氏、NPO法人あっとわん代表理事の河野弓子氏の基調講演に続き、地域の社会課題についてパネルディスカッションを実施。	Zoomウェビナー38名（YouTube閲覧 1部：329回、2部：244回
	●自主事業 C 年2回/市民活動団体のブース出展料2千円×40枠	ジョインいぬやまマルシェ＆シェア（地域資源バンクPRとしても）	・ 市民活動団体、地域の活動者、社会貢献企業等の交流、連携 ・ 活動紹介の場、ポスターセッション、体験ブース等 ・ 団体が扱う商品の物販、出張イベントのPR、スペースや体験、スキルや資金などシェア可能な活動PR 等	コロナのため未実施。 ただし、愛称募集に関連して「協働プラザ展」の中で 市内団体の活動紹介コーナーを展示	協働プラザ展 市役所1Fロビー 1/5～1/22



▲ つながるワークショップ（名古屋経済大学）

協働プラザ 愛称募集

今年度は「犬南おやじの会」の愛称募集を行います。ご協力をお願いします。

募集期間：2021年1月15日～1月22日

募集場所：協働プラザ（市役所1Fロビー）

募集方法：協働プラザの愛称募集ポスターに記入し、協働プラザに提出してください。

しゅんこう

二の宮みかん

日本の果といえは、ここつみかん！

二の宮みかんは、ここつみかん！

二の宮みかんは、ここつみかん！

活動レポート

犬南おやじの会

「顔の見える地域」を目指す

近頃では見えない顔の見える地域を目指す。犬南おやじの会は、顔の見える地域を目指す。犬南おやじの会は、顔の見える地域を目指す。

活動Q&A

活動メンバーが減少

活動メンバーが減少しています。活動メンバーを増やす方法についてご質問ください。

犬山市 NEWS

Vol.9

2020 冬号

contents

- 市民活動専門相談室
- 市民活動専門相談室
- 市民活動専門相談室

まちづくり 活動相談

高田 弘子

市民活動団体の運営資金調達の相談

市民活動団体の運営資金調達の相談。高田 弘子氏に相談してください。

犬山市 協働プラザ

犬山市協働プラザ（市役所1F）

お問い合わせ：0564-440111

お問い合わせ：0564-440111

犬山市協働プラザ事業 進捗状況表（令和2年度実績）

事業の実施方針及び成果指標				進捗状況 （青：実施中or実施済 黄：準備中 桃：未実施）	備考（実績等）
項目0（必須業務・重点課題）	項目1（業務タイトル）	項目2（事業内容）	項目3（事業項目）		
市民活動支援の段階② まちづくりのプレイヤーを増やす “地域資源の発掘活用、活躍の場づくり”	●犬山市地域資源バンク （自主事業Dをこちらに統合）	・市民活動登録団体情報のデータベース化	団体情報管理、共有業務 ・データベース化計画 ・データベース入力業務 ・ヒアリング・ニーズ情報をスタッフ間で共有 （担当者以外へ共有、構成員へ“繋がる”情報提供を依頼。案/Googleスプレッドシート）	市民活動登録団体アンケート調査実施 登録情報の更新、データベース作成 地域資源バンク、市民交流センター登録との連動を検討 シェアリングエコノミーの活用に向けた情報整理を検討 アクティブ度ごとに全団体インタビューを実施→WEBサイトにUP	引き継いだデータを整理 団体インタビュー記事 20件 市民活動団体アンケート 99団体 マッチング案件 7件
		・地域資源バンクサイトをシェアエコサイトへ移行 ※市民活動支援センターがプラットフォームとなり、地域資源バンク情報で、インターネットを介して個人間で貸し借り・提供・交換できるものから登録・活用促進 （モノのシェア、スペースシェア、スキルシェア、体験シェア等）	シェアエコサイトの運用設計、サイト企画制作 ・市民活動団体：シェア情報の登録 新データベースとリンク ・登録団体以外：シェア情報の登録 ※サービス不使用で情報掲載のみ・直問合わせ希望者も掲載 （インターネットを仲介するのはまだハードルが高い場合） 移行サイトへの情報登録作業（または登録者の補助） 登録説明会/定期開催（登録方法、メニューの作り方等） 個別説明・登録支援/受付対応 様々な分野のシェア情報交流イベント（対面）	地域資源バンクとシェアリングエコノミーの仕組みを整理 R3構築、テスト R4運用開始予定 R3予定 R4予定 R4予定 R4予定	
		●フューチャーセッション@犬山 ・「創造的な語り場」として、犬山を舞台に何かやってみたいメンバーが自由に語り合い、対話から新しい価値を生み出す ・「U50」の設定で次代のまちづくりプレイヤーを発掘・育成 ・2019年度には「場リスタ講座」でファシリテーター育成 ・1年目より参加している有志メンバーが「いぬやま倶楽部（いぬクラ）」として運営に参加	・フューチャーセッション@犬山 企画運営 企画、仲間集め、場づくり、進行、運営サポート等のチャレンジを通し、人との繋がり、活動の広がりを応援し合い、地域活動や社会活動への一歩を踏み出せる場に	8月プレ、9月～10月オンライン、11月～12月ハイブリット 1月～3月オンライン開催 オンラインとリアルのハイブリット開催手法構築 3年間で年度ごとに目指す成果について検討 いぬクラが対話の場構築、プラザが創造案件の実現という協働関係について検討	開催回数：8回 延べ131名参加（新規参加者30名） テーマ① 人がバリアフリーにする犬山になったらいいね！ テーマ② 犬山信源地化計画 テーマ③ お帰りのなさいが似合う町
			・ワークショップデザインを学ぶ場づくりスキルアップ連続講座 ファシリテーターとしての場づくりの学びを活かして、ワークショップ自体の企画から考え運営を考える講座	「いぬやま“かたり場”カフェ」の中で実施	
			・フューチャーセッションカフェ（登録者1名につき、月1回まで） 協働プラザ交流スペースを利用し、フューチャーセッション登録メンバーがファシリテーター(日直)となり、自由に「語り場（交流・講座・ワークショップ等）」を開催できる ※メンバー主体の活動、いぬクラ有志へサポート依頼 ※日直は、所定の用紙で、企画申請、告知文、設営撤収、報告レポート作成し、センター職員がサイト等で情報発信	「いぬやま“かたり場”カフェ」として実施。	開催回数：6回、延べ参加者数：26名 【テーマ】 ①親がSNSをまず学ぼう ②ファシリテーション勉強会 ③子育てママ座談会「多子多胎」第1回 ④おかえりのなさいが似合う町～オンライン授業～ ⑤子育てママ座談会「多子多胎」第2回 ⑥読書会

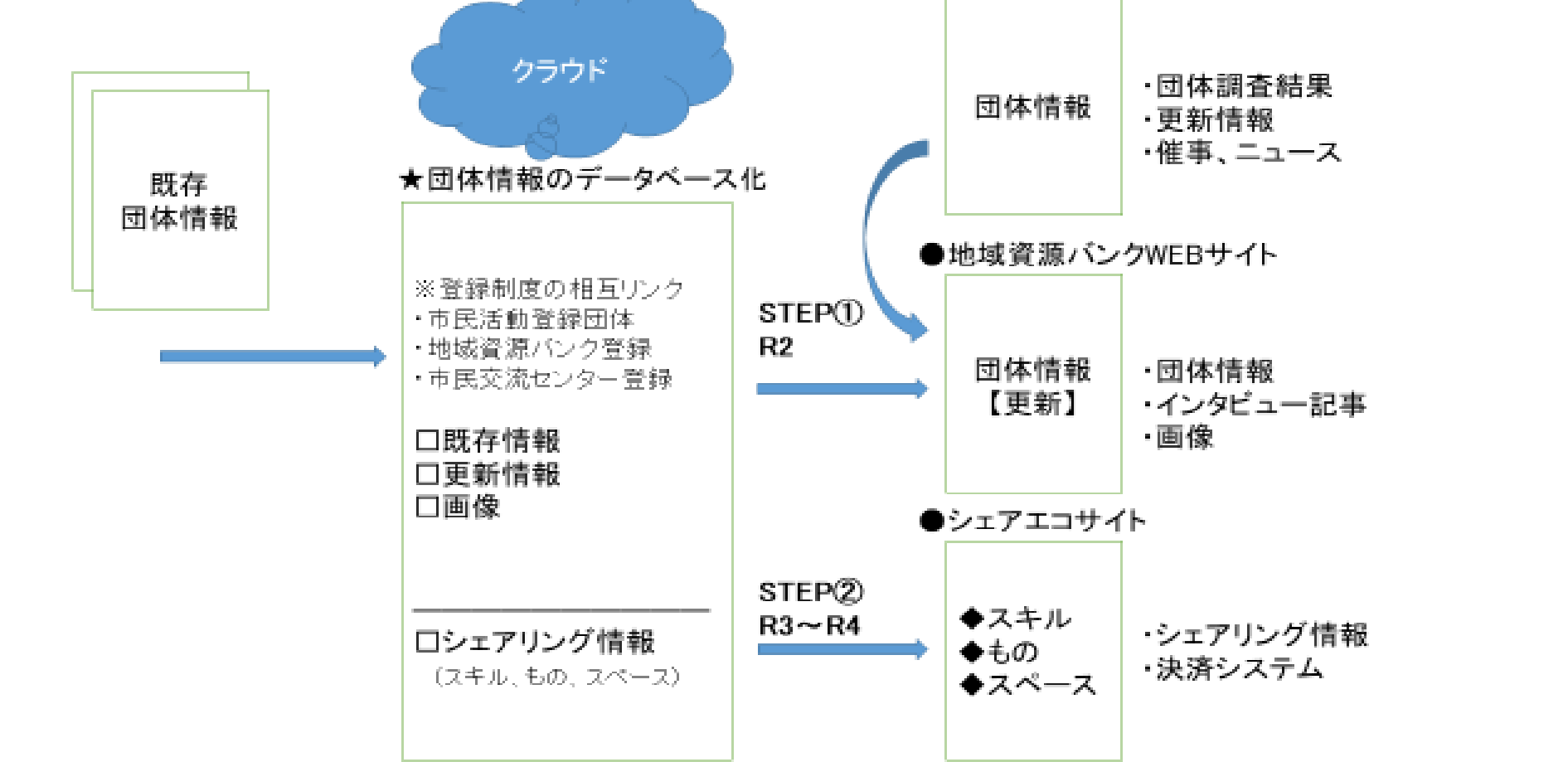
▼ フューチャーセッション@犬山



▲ フューチャーセッションをきっかけとした事業例
「犬山焼き土鍋×かまど×いまいまい お披露目会」

▼ シェアリングエコノミー構想

協働プラザ情報整理構想



犬山市協働プラザ事業 進捗状況表（令和2年度実績）

事業の実施方針及び成果指標				進捗状況 （青：実施中or実施済 黄：準備中 桃：未実施）	備考（実績等）
項目0（必須業務・重点課題）	項目1（業務タイトル）	項目2（事業内容）	項目3（事業項目）		
市民活動支援の段階③ 地域の課題を解決する事業をつくる	●市民活動支援センター	・直接市民へ関わり、意見やニーズ等のヒアリングを行う ・アウトリーチ活動担当者のコーディネート力育成 ・未登録団体への登録促進（登録メリットの説明・相談対応）、登録件数増へ	・受託者であるコンソーシアムの5団体の社会的な課題解決に取り組んでいる内容を整理し、次年度以降に実施する情報収集の基盤及び体制を作る。	事業全体のロジックモデルを検討 一連の仕組みからコーディネートした案件を落とし込み、R3までに「犬山市の課題解決取り組み集」として作成	
			・アウトリーチ活動計画	R3に情報収集戦略を検討予定	
			・アウトリーチ型①アンケート （市民活動団体、町内会、自治会、区、コミュニティ、企業、教育機関、子供会、子育て支援団体、ボランティアセンター、協議体、社会福祉協議会、市役所各課 等）	市民活動団体の調査を実施（市民活動登録団体データベース化に同じ）	
			・アウトリーチ型②訪問型・来所型 （市民活動団体を最優先し、ネットワークを広げていく）	市民活動団体の調査を実施（市民活動登録団体データベース化に同じ）	
			・アウトリーチ型③イベント交流型 （団体・人が主体的に繋がりが合うことができ、直接対面で紹介・コーディネートができる場づくり）	R3以降実施	
	●自主事業B ※2年目以降で実施検討 参加費/10000円×20人	まちづくり高度人材育成研修会	①市民活動促進 …活動の創り方、ネットワーキング、継続性 ②社会的起業家育成 …他市町の事例、市内の社会ニーズ調査、事業計画作成、組織形成 ③社会事業創出 …社会事業マネジメント、事業運営、資金計画、組織拡大	10月 わたしと地域がかがやくためのコツとお作法 リアルとオンラインのハイブリッド開催。 講師：河野 弓子氏 12月 助成金にトライしてみよう 市民活動助成金及び資金獲得全般の説明	10/1 16名参加 12/18 2団体参加 12/19 3団体参加
			障害者雇用（軽作業、イベント準備等）	団体調査の入力、集計作業を実施	

▼ 協働プラザ 運営のロジックモデル

